



京都府議会議員

活力ある京都は地域の挑戦からはじまる!

Sonosaki Hiromichi News

そのさき ひろみち 弘道 新聞

討議資料(活動報告)

発行責任者: 園崎弘道

〒610-0101 京都府城陽市平川大將軍88
TEL.0774-56-0581 FAX.0774-56-0582

2017年夏号 No.22

京都府立木津川運動公園 北側ゾーン 民間活力の活用による複合的公園の整備にむけて



背景と狙い

新名神高速道路の工事が進捗していますが、5月31日、開発業者・地権者の基本合意で、アウトレットモールの進出が具体化し、スマートインターチェンジ(ETC車載器搭載車両限定のインターチェンジ)設置も現実のものとなろうとしています。

隣接する京都府立木津川運動公園でも、未整備である北側ゾーンの整備を急ぐべきだと考えています。公園設置には多額の投資が必要となりますが、このエリアは、民間の活力を引き出すのに十分な極めて利便性の高い立地でもあります。平成35年度新名神高速道路全線開通に合わせての設置を考えると、一日も早い京都府と地元城陽市の協議が必要です。



パラリンピックを身近に感じよう

2016年7月、京都府の障がい者スポーツの拠点である「サン・アビリティーズ城陽(城陽市中芦原)」は、パラリンピック・パワーリフティングのナショナルトレーニングセンターに指定。月1回程度、合宿や練習等を行っています。



特徴

- ①スポーツ医科学サポートで行っている。敷地内の府立リハビリテーション病院との連携。同病院は、リハビリ医療の聖地を目指したい。
- ②隣地の城陽特別支援学校と、見学などの交流が始まった。
- ③パラ・ゴールボール女子日本代表も練習している。

見えてきた課題

障がい者のための環境整備

①宿泊施設の不足
強化合宿には、10~40人程度の参加者がおられるが、障がい者の方が同時に多数で泊まることのできる施設がないので、分散して宿泊している。計画されているプラムイン城陽の改修工事(二段ベット)に加え定員減少により空き部屋もある、同敷地内の「城陽高等技術専門校の寮」に宿泊機能を求めたい。

ともにスポーツできる環境整備

②特別支援学校の運動場等の地域開放
障がい者の方が、お住まいの市町村で、気軽にスポーツできる環境がまだまだ整っていない。地域の特別支援学校の運動場・体育館を地域開放すること、あわせてすべての人が一緒にスポーツする機運を盛り上げるべきであり、障がい者スポーツを得意とする地域型スポーツクラブの設立も必要である。

③公共のスポーツ施設で、障がい者の方も不自由せずにご利用できるようバリアフリー化をはじめ、修繕等を行うことが必要。

6月定例会で 一般質問を行いました！

6月27日、一般質問の機会を得ました。
知事をはじめ理事者から前向きな答弁を引き出しました。



新名神のインパクトを活用した まちづくり

平成35年度新名神高速道路は全線開通を予定しています。企業誘致を進めていた東部丘陵地長池先行整備地区において、アウトレットモール進出の、地権者等の基本合意が発表されました。「土地利用が決まっていない、京都市立木津川運動公園北側ゾーンについては、総合的な公園としての見直しと民間活力の導入を前提に、府と地元城陽市が協議を」と質問しました。



山田啓二知事からも、「民間とのパートナーシップという形でも、現実を考えていける状況がうまれつつある。城陽市をはじめ地元の意見もお聞きし、柔軟に変化に対応していく方策を探りたい」との前向きな答弁を引き出しました。また、渋滞の解消など地域住民の求める周辺道路整備についても強く要望しました。

エコ&ヘルス住宅

入浴中の心肺停止による死者数は、年間約19,000人(交通事故死亡者数は約4,000人)。ヒートショックによる死亡リスクは4倍以上になります。「断熱性能を上げるリフォームは、健康増進につながり、医療費削減も期待できるため断熱住宅化へのリフォームに対する補助制度の創設を」と質問しました。

特別支援学校の体育館・ 運動場の地域開放

障がいを持たれた方や地域住民に、身近にある特別支援学校の体育館・運動場を解放し、様々なスポーツに親しめる交流事業をより積極的に取り組むよう府の対応を求めました。

スポーツ振興特別委員会 委員長に選出されました

5月臨時議会において、常任委員会・特別委員会の配属などの変更がありました。昨年(2016年度)は、文化・教育常任委員会(第1副委員長)と関西広域連合に関する特別委員会に所属しました。今年(2017年度)は、農商工労働常任委員会とスポーツ振興特別委員会に所属します。特に、スポーツ振興特別委員会では委員長に選出され、京都府における競技力向上と生涯スポーツ推進のための調査研究を行います。また、ジュニアアスリートの育成、障がい者スポーツの振興、より多くの方にスポーツに親しんでいただける環境づくり等の施策が前進するよう委員会活動に取り組んでいきます。



園崎 弘道 京都府議会議員(城陽市選挙区)

1980年3月23日生。神戸大学経営学部卒業後、カネボウ化粧品、城陽市議2期を経て、2014年4月より京都府議会議員。自民党議員団所属。

園崎弘道事務所
平日 9時30分
16時30分

〒610-0101 京都府城陽市平川大將軍88(スーパーサンフレッシュ跡地2階)
電話 : 0774-56-0581 FAX : 0774-56-0582
メール : info@sonosakimirai.com
HP : <http://blog.goo.ne.jp/sonosakimirai> をご覧ください。

